

令和7年度 長崎短期大学 研究シーズ リーフレット

～教育と研究の力で、地域と未来を共に創る～



本研究シーズは、長崎短期大学教員が研究・教育活動をもって地域に貢献していく目的で、地方自治体ならびに関係団体、教育機関、市民の皆様へ教育・研究内容を紹介し、地域とともに未来を築くための可能性を広げていきます。

Information: 長崎短期大学

〒858-0925
長崎県佐世保市椎木町600番
電話：0956-47-5566
<https://www.njc.ac.jp>

研究ブランディング 事業委員会

brmd@njc.ac.jp



長崎短期大学公式HP



長崎短期大学公式
Instagram

長崎短期大学について

○建学の精神

- ◇高い知性と豊かな教養
- ◇優れた徳性と品格
- ◇たくましい意志と健康な身体



○設置学科・コース

■地域共生学科

- ・食物栄養コース(栄養士養成課程)
- ・製菓コース(製菓衛生師養成課程)
- ・介護福祉コース(介護福祉士養成課程)
- ・国際コミュニケーションコース
(英語・韓国語・中国語・日本語・ビジネス)

■保育学科(保育士・幼稚園教諭養成課程)

■専攻科保育専攻 (幼稚園教諭二種免許状取得者対象)



○3つの未来宣言

- ◇「Students First いつも学生のために」
- ◇「With Community 地域と共に
これまでも これからも」
- ◇「Think Global 国際化を引き寄せて」

地域共生学科 製菓コース



中野 明人

経歴：福岡大学大学院人文科学研究科博士後期課程 教育・臨床心理専攻単位取得満期修了
専門分野：犯罪被害者支援、学校教育相談

アドレス：nakano@njcawesome.education

【犯罪被害者支援】

長崎犯罪被害者支援センターの立ち上げから現在に至るまで、事件や事故の被害者を様々な期間と連携して支援する活動や刑務所や少年院において「被害者の視点を取り入れた教育」の講師やゲストスピーカーとして講演活動を行っています。

【学校教育相談】

スクールカウンセラーとして、これまで22年にわたり実践を重ねてきました。フィールドとしては小学校から高校までを対象とし、児童や生徒に対する相談活動だけでなく保護者や教職員の支援、いろいろな自治体でこれまでの経験を生かした講演活動を行っています。



平田 安喜子

経歴：山口県立山口女子大学 家政学部食物栄養学科食物栄養専攻
専門分野：小児栄養、地域活動

【小児栄養】

乳幼児の健やかな健康を支援するために必要な食生活について、離乳食の基本を中心に公衆栄養の立場から実践的な栄養指導を検討します。

【地域活動】

製菓コースの実践教育の一環として、菓子製造販売、カフェをキーワードに商品開発をはじめとする地域のイベントへの参加をすすめます。

アドレス：hirata.a@njcawesome.education



谷口 英司

経歴：日本食品技術専門学校
専門分野：製菓理論、製菓技術

【洋菓子コンテスト作品等、応用技術と工芸菓子の指導】
洋菓子技術コンテストの作品製作などに関する応用技術の指導方法を検討しています。

【菓子材料に関する研究及び長崎短期大学オリジナル製品の制作】
地域の食材などを使用したオリジナル製品の開発・研究をしています。

地域共生学科 食物栄養コース



小玉 智章

経歴：京都府立大学人間環境科学研究科博士後期課程(博士(学術))
専門分野：基礎栄養学、生化学、応用栄養学

【酒粕の有効利用に関する研究】
近年、食用にされることも少なく廃棄されることが多い酒粕ですが、様々な有効成分を多く含むことがわかっています。その機能性、特に健康への作用を明らかにし、酒粕の有効利用と人々の健康増進を目指す研究をしています。

【食欲の性差に関する研究】

食欲とは単に食べたいかどうかだけでなく何を食べるかという選択も含み、それは内的・外的要因に左右されます。私は特に性差に着目し、男女の嗜好に差はあるのか、それは何に起因するのかについて研究しています。



西田 江里

経歴：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻(博期課程)修了
専門分野：栄養指導論、公衆栄養学、食育



東彼杵町との連携事業として、町のみなさんに対し、食育料理教室を実施した時の様子です。

【地域の人の健康増進のための食育活動の推進】

食育は乳幼児から高齢者まで、すべての年代の人々に対して必要な学びです。健康の維持増進のために必要な知識や技術について、いろいろな人にわかりやすく伝えるための研究を行っています。

アドレス：nishida@njc.ac.jp



菊池 亮子

経歴：長崎国際大学健康管理学研究科健康栄養学専攻 修了
専門分野：調理科学

アドレス：kikuti.r@njcawesome.education

【大量調理機器を用いた食品の調理科学的変化に関する研究】

上記のタイトルに基づき、以下の研究を行っています。
1つ目の研究では、湿式加熱が野菜の可溶性固形分、ビタミンC量、テクスチャーに与える影響を比較検討します。適切な大量調理機器や温度管理を選定し、味や栄養素を考慮した加熱・冷却条件が品質に与える影響も考察します。
2つ目の研究では、大量調理における米飯の調理法、特にピラフに注目します。給食での一般的な調理法と簡易法を比較し、食味やテクスチャーへの影響を官能評価などで検討します。得られたデータが、大量調理の効率化や標準化に繋がることを目指します。

地域共生学科 介護福祉コース



光武 きよみ

経歴：長崎県立長崎保健看護学校看護学科および保健学科卒業
専門分野：看護学、福祉教育

【感染症について】
小児および高齢者の感染症についての専門職の支援の研究を行っています。

【福祉教育について】

中学生・高校生を対象にした介護の知識や技術の提供を行い、福祉に興味・関心を持ってもらえるような研究を行っています。

アドレス：mitutake.k@njcawesome.education



太田 茂美

経歴：九州共立大学経済学部経営学科卒、長崎短期大学 保育学科介護福祉士専攻卒
専門分野：高齢者福祉介護福祉



レクリエーションとは何か、どのような意義があるのか？計画された楽しさの提供ができる人材育成を目指します。

【介護福祉士の利用者支援におけるコミュニケーション力】

住み慣れた地域で可能な限り楽しく暮らしていきたい。その思いに寄り添う専門職が介護福祉士だと考えます。その為に必要なコミュニケーション力について検討していきます。



小浦 康平

経歴：東洋大学大学院工学研究科応用科学専攻博士前期課程修了
専門分野：情報デザイン

【ICTスキルの調査研究】
現代のICT技術は様々な場面で業務の効率化やくらしを快適にするために影響している。本研究ではICTスキルに関する調査を行い、習得レベルの実情などを把握し可視化していく。

【短期大学の学修成果指標に関する研究】

本研究では短期大学における「学修成果のスタンダードづくり」を試行している。外部質保証の基準を点検し、共通性と多様性の特色づくりに貢献することが期待される。

アドレス：k_koura@njc.ac.jp



白似田 健悟

経歴：佐世保市医師会看護専門学校
専門分野：こころとからだのしくみ

【高齢者・障害者施設における介護職員と看護職員の関係性】

高齢者や障害者の施設では多職種が働いているが、特に介護職員と看護職員は密接な関係性にあるといえる。良好な関係性を築いている場合もあるが、不良な関係性(パワーバランス等)が散見されることも多い。不良な関係性が起こる原因を検討していく。



水田 哲弥

経歴：九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究科精神保健学専攻修士課程
専門分野：介護福祉、社会福祉

【介護負担感についての研究】
家族介護者や施設職員の介護負担感についてこれからも研究し、介護に携わる方々のお役に立てるように努めます。

【介護福祉士養成校と実習施設との連携についての研究】

養成校と実習施設が連携することで、学生の質の向上につながるため、今後も継続していきたいと考えております。



地域共生学科 国際コミュニケーションコース



牟田 美信

経歴：University of Victoria (M.A. in Linguistics) カナダ・ビクトリア大学大学院修士課程（言語学科）卒業
専門分野：音声学、言語学

アドレス：muta@njcawesome.education

【アクティブラーニング、海外留学、海外インターンシップが学生の英語力向上とグローバルリーダーシップに与える影響】
これらの経験が学生のコミュニケーション能力や国際的視野を広げることを明らかにし、教育方法の改善に寄与することを目指す。

【短期大学における長期有給インターンシップが学生のキャリア形成に与える影響】

インターンシップを通じて得られる実務経験や職業意識の向上が、学生の将来の職業選択やキャリアパスにどのように寄与するかを明らかにすることを目的とする。



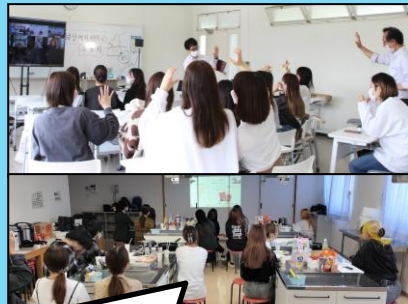
李載宇

経歴：長崎国際大学人間社会学研究科観光学専攻卒業（観光学修士）
専門分野：韓国語教育、日本学・日本語教育、観光学

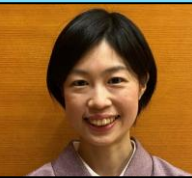
【韓国語教育】

韓国語能力試験（TOPIK）合格、韓国語スピーチ大会受賞、短期・中期・長期の韓国留学支援に取り組み、それぞれの実績を学生の語学力向上に結び付けることで、授業改善に繋がることを追求する。両国の架け橋となる人材育成を目指す。

アドレス：lee@njcawesome.education



韓国姉妹大学とのオンライン交流授業、韓国企業とのコラボ授業なども行っています



依藤 実里

経歴：広島大学大学院教育学研究科言語文化教育学専攻日本語教育学専修 修了
専門分野：日本語教育学、多文化共生、年少者日本語教育

【留学生の地域活動】
留学生が地域の一員としてできる地域活動をテーマに、児童・生徒を対象とした異文化理解教育事業や母語を活かした翻訳・通訳の経験等、それぞれの言語的・文化的背景を活かして地域とつながる様々なプログラムを実践的に進めています。

【国際共修で得られる学び】

留学生教育を担当する立場として、言語的・文化的に異なる背景を持つ者が協働して様々なプロジェクトに取り組むことで得られる学びについて、国際共修の観点から分析を行っています。

保育学科



川原 ゆかり

経歴：長崎大学教育学部卒業
専門分野：保育学・保育原理・心理臨床学

【茶道文化教育の教育効果に関する探索的研究】

茶道文化は日本の地域文化伝承の教養教育であり、ホスピタリティ意識の醸成と社会人基礎力を土台にした汎用能力を高めるための教育である。地域で活躍する上で必要になる力は、基礎学力、社会人基礎力、専門知識の三要素であるが、各学科コースの学生アンケートからも、茶道文化は社会人基礎力に中心軸を置きつつ、親和力・協働力に重きを置いて展開していることを検証した。

【NPO法人「ちいきの仲間」の設立に貢献し、長年佐世保市の子育て支援に尽力しておられる「守永恵氏」にインタビュー】

子育て支援＝親支援＝家庭支援である事を実践を通して実証しておられる人である。また、長崎短期大学のある椎木町の町づくりに長年貢献しておられる「志波収氏」に人生観と語りつくせない地域への愛と想いを伺った。両者に共通するものは、「愛」である。

アドレス：ntdyk@njc.ac.jp



中尾 健一郎

経歴：筑波大学大学院修士課程体育研究科修了
専門分野：体育・スポーツ経営学（体育学）・保育内容（健康）の方法（保育学）

アドレス：nakao@njcawesome.education



幼児期運動能力検査の実施風景です

【子どもの健康と運動生活について】

幼児期の子どもの生活の中に体を動かして遊ぶ機会をどのように位置づけていくか、質的、量的面から子どもを取り巻く環境を踏まえてながら検討する。



花城 暢一

経歴：日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程修了
専門分野：社会福祉

アドレス：hanashiro.n@njcawesome.education



地域交流活動の様子です。

【地域交流活動について】

地域の社会資源としての様々な「環境」に注目し、地域の歴史・文化・自然を踏まえた交流活動について検討しています。



友廣 憲子

経歴：大阪芸術大学芸術学部音楽教育学科卒業
専門分野：音楽（ピアノ・声楽）、表現音楽活動

【音楽教育（ピアノ）】

保育に必要なピアノ技術を身に付けることができるよう授業内容やピアノ指導について研究を深めている。

アドレス：tomohiro.n@njcawesome.education



週に4回個人レッスンを実施している。学生の伸びしろを信じ褒めることをモットーにレッスンを心かけている。



中村 明夫

経歴：作陽音楽大学音楽学部音楽学科
専門分野：管楽器（テューバ）演奏、指揮、吹奏楽指導

【吹奏楽で紡ぐ私たちの未来】

世代を超えた音楽活動のできる街づくり、音楽を通じた地域交流の活性化を目指します。

アドレス：akio@njc.ac.jp



小学生から大人まで、地域や世代を越えてメンバーを募集し、演奏会を開催しています。



戸田 恵理子

経歴：鳴門教育大学大学院
専門分野：教育・保育

アドレス：toda.e@njcawesome.education



こども広場「あまもま」での活動風景です。

【子どもの社会性を育むあそび】

その中でも子どもと保育者間の「スキップ」を通じたかわりについて実践を通して検討しています。

＜各学科・コースからのお知らせ＞

◇地域共生学科 食物栄養コース

・白蝶クッキングスタジオ

2017年から長崎県食育ボランティアに登録し、地域の皆様に健康で過ごしていただけるような食育を行うイベントを実施しています。企画から実施に至るまで授業の一環として学生が自ら考え、日々の学びをお伝えします。学生にとっては社会貢献の楽しさを実感する場でもあります。これまでに小学生向けに野菜など食材を使った実験や、高齢者の方に適した食事の紹介とこれらに関する調理実習を行っています。



・英語で料理教室

佐世保には多くの外国の方が生活しており、地域で働く栄養士も自然と接する機会が多くなります。その方々との交流の機会を増やすため英語で日本の食文化や料理を紹介するイベントを開催しています。こちらも学生が企画し、拙い英語ながらもなんとか伝えようと努力をしています。



◇地域共生学科 製菓コース

・お菓子をを通して、地域を元気に、笑顔にする活動をモットーに地域活動に参加しています。2016年より、「させぼわんぱくひろば」にてお菓子やパンを配布したり、2025年2月に九十九島パールシーリゾートにて「和のスイーツマルシェ」に出展をしています。その他、「椎木町公民館祭り」「恐竜祭り2024」等のイベントや、長崎県特産品を使った商品開発を行い、お菓子の製造販売を行いました。



◇地域共生学科 介護福祉コース

・白蝶講座

各専任教員が専門分野のテーマを設定し、施設に何って講話を行います（無料）※ご案内は4月以降に郵送いたします。

・介護福祉士実習指導者講習会

令和7年度は、6月に実施予定です。日程が決定次第、ご案内いたします。（有料）

その他、介護技術の公開講座も検討中です。お楽しみに！

◇地域共生学科 国際コミュニケーションコース

・国コミ・Speak Up チャレンジ

少しの勇氣を持って、皆さんが現在学んでいる言語で「人に伝えたいこと（3分間）」を人前で発表することで、語学力向上のモチベーションを高めることを目的としています。



・留学生による母国紹介&交流プログラム

留学生が地域の小学生や高校生に自国の文化や言語を紹介し、異文化理解を深めることを目的に毎年実施しています。これまでに、相浦小学校、九州文化学園高校、県立佐世保東翔高校、県立大崎高校の生徒たちと交流を行いました。



・ギャップタム（学外学修期間）

1年次に1〜4ヶ月間、学外でインターンシップ、サービラーニング（地域活動）、または留学のいずれかを経験します。これらの学外での経験は、学生の成長を促進します。



・多様な留学制度

海外短期研修から1年間（休学）の留学まで、さまざまな選択肢を学生に提供しています。授業料無料の姉妹大学への交換留学（韓国、中国、台湾など）や、ワーキングホリデーを活用したカナダ、オーストラリア、ニュージーランドへの留学も可能です。また、卒業後に韓国や中国の大学へ3年次編入する学生も多数います。



◇保育学科・専攻科保育専攻

・白蝶講座について

本講座は、保護者の子育て力や保育者の質の向上に寄与することを目的として行われる取り組みです。保育学科の教員がそれぞれの専門分野のテーマを設定し、幼稚園・認定こども園・保育所等が主催する保護者講座や職員を対象とした研修会に講師として出向します。

・専攻科保育専攻の研究発表会

毎年2月20日前後に、2年生の学修成果レポート（学位論文）の発表と1年生の研究経過発表をおこなっています。2年生は20,000字以上の論文を20分でスライド発表し、1年生は12,000字程度の研究ノートを15分で発表します。この会には学内の教員と専攻科入学予定学生も参加し、活発な意見交換がおこなわれます。個人の課題を全体で共有し現代の保育課題を広く考える貴重な場にもなっています。



下池 洸史朗

経歴：九州大学大学院人間環境学府人間共生システム専攻博士後期課程満期取得後退学
専門分野：臨床心理学、特別支援教育、発達心理学

【障害児福祉サービスにおけるアクションメソッドを用いた臨床心理学的な支援の可能性】

放課後等デイサービスにおいて、心理劇や動作法といったアクションメソッドを用いた余暇支援のあり方を検討しています。

アドレス：shimoike.k@njcawesome.education



からだを通してここに働きかける臨床動作法という心理療法を専門にしています。

専攻科保育専攻



陣内 敦

経歴：筑波大学大学院芸術研究科修士課程（美術専攻）修了
専門分野：造形教育、芸術学

アドレス：jinnouchi@njc.ac.jp

【児童文化財の実践研究】
児童文学や地域に伝わる物語を開拓し、児童文化財として自作・再生した紙芝居や大きな絵を子ども達に披露し、この中で子育て支援の方法を実践的に研究している。

【バラッドの挿絵制作】

バラッドは中世以来ヨーロッパで口承伝承としてうたい継がれてきた。協同研究者・中島久代氏の編集「全訳チャイルド・バラッド」を基に挿絵を制作し、バラッド伝搬の一端を担っている。

